

過去問

教育原理

1月14日

問1

次の文は、「日本国憲法」の一部である。誤ったものを一つ選びなさい。

1. 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。
2. 学問の自由は、これを保障する。
3. すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
4. すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。
5. すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

4は 教育基本法の一部である。教育基本法 第1章第4条（教育の機会均等）には次のようにある。
すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条
性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。よって誤ったものは4である。

問2

「学校教育法」第21条には、「義務教育として行われる普通教育」の目標が10項目掲げられている。次の文は、その一部である。（ A ）・（ B ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 一 学校内外における（ A ）を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 二 学校内外における（ B ）を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

（組み合わせ）

	A	B
1	ボランティア活動	道徳教育
2	ボランティア活動	自然体験活動
3	社会的活動	自然体験活動
4	社会的活動	環境教育
5	道徳教育	環境教育

学校教育法 第21条

1. 学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
2. 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。

よって正しい組み合わせは3である。

問3

次の文は、「幼稚園教育要領」第1章「総則」の第2「教育課程の編成」の一部である。（ A ）・（ B ）
にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

幼稚園は、（ A ）との連携を図りながら、この章の第1に示す幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、（ B ）の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めなければならない。幼稚園は、このことにより、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとする。

（組み合わせ）

	A	B
1	初等教育	生きる力
2	初等教育	確かな学力
3	家庭	知・徳・体
4	家庭	確かな学力
5	家庭	生きる力

幼稚園教育要領 第1章「総則」第2

幼稚園は、**家庭**との連携を図りながら、この章の第1に示す幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して **生きる力**の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めなければならない。幼稚園はこのことにより義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとする。

よって正しい組み合わせは5である。

問4

次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

そこで、活動的な仕事のさまざまな形態を学校に導入することに関して、留意すべき重大な事柄はこれらの形態を通して、学校の全精神が一新されるということである。学校は将来営まれるべき、ある可能な生活と抽象的で迂遠な関わりしかもたない学課を学ぶ場所ではなく自らを生活と関連させ子供が指導された生活を通じて学ぶ、子供の住みかになる機会をもつものとなる。学校は小型のコミュニティ、胚芽的社会になる機会をもつ。これが基本的事実でありここから継続的で秩序ある教育の流れが生ずる。

1. ロック (Locke, J.)
2. オーエン (Owen, R.)
3. デューイ (Dewey, J.)
4. パークースト (Parkhurst, H.)
5. キルパトリック (Kilpatrick, W.H.)

回答

3

上記の文は、デューイ（Dewey,J）の著書『学校と社会』（1899）の一部である。
よって正しいものは3である。

問5

次の文の著者として正しいものを一つ選びなさい。

子供が日々幼稚園へ来てその日何をするかはあらかじめきめられません。幼稚園として先ず用意して置けるものは誘導準備だけです。誘導以外のことは子供が来てからのことでもあります。子供が来たらばこういうふう to 充実指導をしてやろうと考えて置きましても、幼児自らがどういう活動をするかを見なくては どう充実してやるべきかわかりません。ただしどういう活動にはどういうふうな誘導を与えてやるかということは、個々の場合を離れて広く研究しておかれることですから、 機会に応じて誘導保育案を実行していくことは、幼稚園の平生の心がけだと思ふのであります。

1. 松野クララ
2. 森有礼
3. 倉橋惣三
4. 城戸幡太郎
5. 澤柳政太郎

回答

3

誘導保育案を提唱したのは、児童心理学者である倉橋惣三である。よって正しいものは3である。

<https://www.sozo-kurahashi.or.jp/>

問6

次のA～Cは、日本の教育についての記述である。これらを年代の古い順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 鈴木三重吉が『赤い鳥』を創刊した。
- B. 東京女子師範学校附属幼稚園が創設された。
- C. 「教育ニ関スル勅語」（教育勅語）が發布された。

(組み合わせ)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | $A \rightarrow B \rightarrow C$ |
| 2 | $A \rightarrow C \rightarrow B$ |
| 3 | $B \rightarrow A \rightarrow C$ |
| 4 | $B \rightarrow C \rightarrow A$ |
| 5 | $C \rightarrow A \rightarrow B$ |

鈴木三重吉が『赤い鳥』を創刊したのは1918年（大正7年）

東京女子師範学校附属幼稚園が創設されたのは1876年（明治9年）

教育勅語が発布されたのは1890年（明治23年）である。

よって正しい組み合わせは4である。

問7

次の文は、「いじめ防止対策推進法」の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの（ A ）に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると（ B ）ときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

（組み合わせ）

	A	B
1	防止及び早期発見	情報提供があった
2	防止及び早期発見	思われる
3	防止及び早期発見	確証を得た
4	根絶のための啓発	情報提供があった
5	根絶のための啓発	思われる

いじめ防止対策推進法 第1章 総則 第8条（学校及び学校の教職員の責務）

学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

よって正しい組み合わせは2である。

問8

次の文は、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24 年 7 月 文部科学省）の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

インクルーシブ教育システムにおいては、（ A ） 学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、 自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。 小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「（ B ） 」を用意しておくことが必要である。

（組み合わせ）

	A	B
1	同じ場で共に	多様な学びの場
2	同じ場で個別に	多様な学びの場
3	適切な場で個別に	多様な学びの場
4	同じ場で共に	専門特化した環境
5	同じ場で個別に	専門特化した環境

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」

1. 共生社会の形成に向けて

（1）共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築の中に次の文がある。

インクルーシブ教育システムにおいては、**同じ場で共に学ぶ**ことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して自立と社会参加を見据えてその時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある**「多様な学びの場」**を用意しておくことが必要である。

よって正しい組み合わせは1である。

問9

次の文は、E S D（Education for Sustainable Development）といわれる教育活動についての説明である。
（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。E S Dとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと（think globally, act locally）を身につけ、課題解決につながる（ A ）を生み出し、（ B ）を創造していくことを目指す学習や活動です。

（組み合わせ）

	A	B
1	価値観や行動	多様性を尊重する社会
2	成長戦略	高度に経済発展した社会
3	秩序や社会システム	高度に経済発展した社会
4	成長戦略	持続可能な社会
5	価値観や行動	持続可能な社会

E S D（Education for Sustainable Development）とは 文部科学省

ESDとは、（略）現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことによりそれらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

よって適切な組み合わせは5である

問10

次の文は、「いじめ防止対策推進法」第1条の一部である。（ A ）～（ C ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の（ A ）を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び（ B ）に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、（ C ）を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、（以下略）

（組み合わせ）

	A	B	C
1	教育を受ける権利	その後の生活	児童等の尊厳
2	生存権	人格の形成	安全な学校生活
3	教育を受ける権利	その後の生活	安全な学校生活
4	生存権	その後の生活	児童等の尊厳
5	教育を受ける権利	人格の形成	児童等の尊厳

「いじめ防止対策推進法」第1条

第1条 この法律はいじめがいじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し基本理念を定め（以下略）

以上より、正しい組み合わせは5である。